図－3　都心まちづくりの方向性

都心まちづくりの基本方向

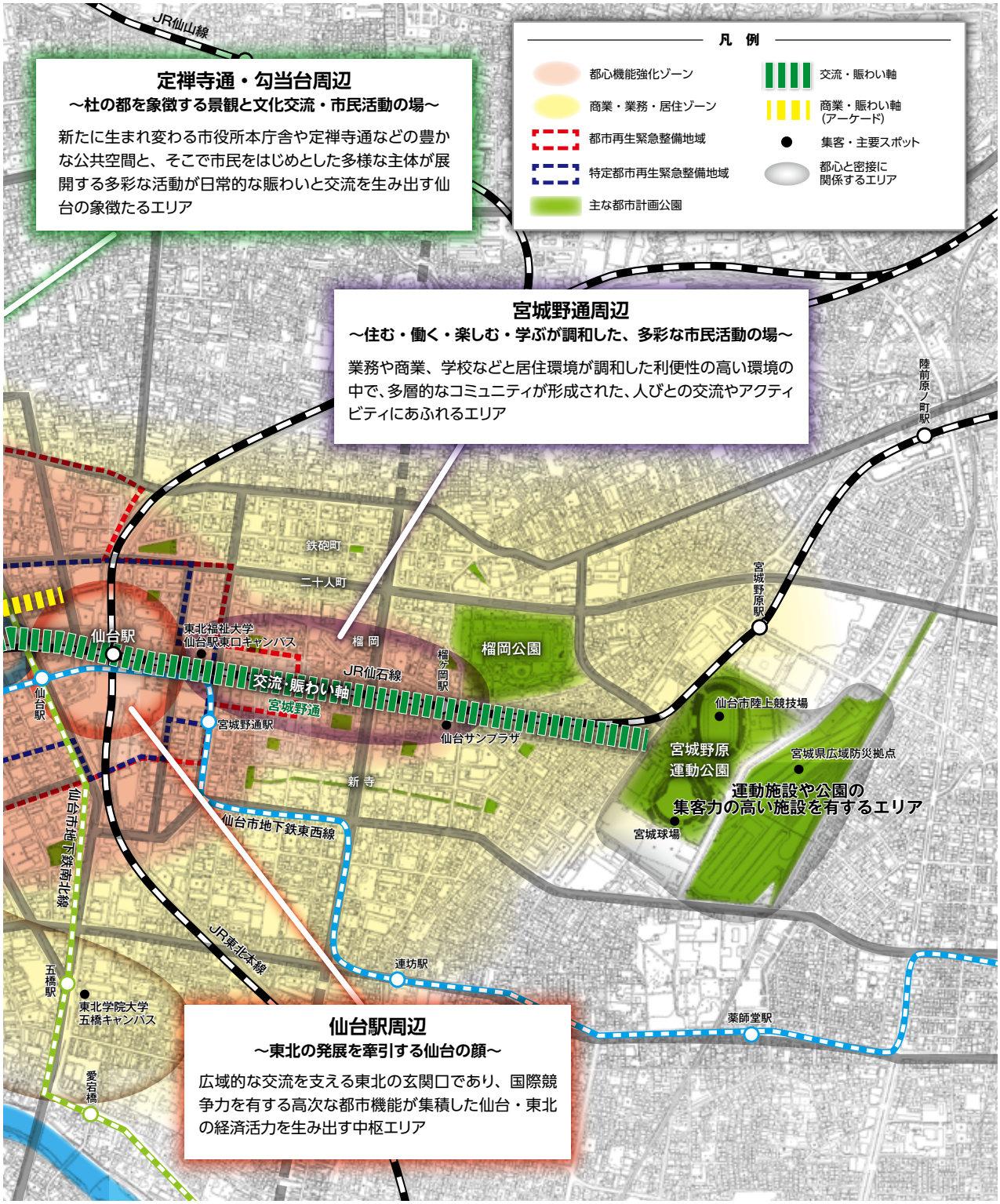
都心機能強化ゾーン
仙台駅周辺や主要な通りを中心に、広域的な商圏を持つ商業機能や、東北の中枢機能を担う業務機能が高密度に立地する仙台都心の核心として、国際競争力のあるビジネス交流の環境づくりなど、新たな価値や魅力を生み出す。

商業・業務・居住ゾーン
都心機能強化ゾーンを取り巻く、暮らす・学ぶ・働く・楽しむなどの多様で高度な機能が調和した利便性の高いゾーンとして、これらの機能を掛け合わせることにより、都心のエリア価値を高める。

各ゾーンの裏路地などは、昼夜楽しめる多彩なローカルコンテンツを集積するなど、集客・主要スポットとともに都心の賑わいを面的につなげ、周辺エリアに波及させながら、都心全体の魅力を高める。

みどりを感じられる豊かな都市空間の形成、防災力や環境性能の向上など、安全・安心で快適な環境づくりを進めるとともに、国内外へ積極的に発信することにより「杜の都」「防災環境都市」のブランド力を高める。

青葉通・一番町周辺
～賑わいに満ちた商いと出会いの場～

青葉通やアーケードを軸に、ビジネス・商業・文化を中心とした盛んな交流が、地域に“出会い”の機会と“賑わい”をもたらすエリア

藩政時代からのみどり豊かで潤いのある美しい「杜の都」の都市環境や、「防災環境都市」としての都市個性を基盤に、その質を高めながら都心の機能強化を図り、東北をグローバルに牽引する中枢都市として、国際競争力を有し、安全で賑わいと交流、継続的な経済活力を生み出し続ける躍動する都心を目指します。